

民 法

(問 題)

2016 年度

注 意 事 項

1. 問題冊子、解答用紙および貸与六法は、試験開始の指示があるまで開かないでください。
2. 問題は2～3頁に記載されています。問題冊子の印刷不鮮明、頁の落丁・乱丁および汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせてください。
3. 下書用紙は一人につき一枚のみ配付します。
4. ラインマーカー、色鉛筆、修正液等は、問題冊子・下書用紙に使用することを許可しますが、解答用紙に使用した場合は、不正行為とみなすことがあります。
5. 貸与六法への書き込みは、不正行為とみなすことがあります。
6. 試験開始の指示の後、解答用紙表紙の所定欄に、受験番号、氏名、問題番号を記入してください。受験番号は正確に間違いに記入してください。読みにくい数字は採点処理に支障をきたすことがあるので、注意してください。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答を止め、筆記用具を置いてください。終了の指示に従わず筆記用具を持っていたり解答を続けた場合は、不正行為とみなすことがあります。
8. 試験終了後、問題冊子、下書用紙は持ち帰ってください。
9. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出してください。
10. 解答用紙に記載の注意事項もあわせて確認してください。

問題 1 (75 点)

Aは自動車修理工場を営んでいたが、事業資金300万円を借りていた債権者Dから返済を迫られ、妻Bが父から相続して所有する甲土地(時価300万円前後)を、債務の弁済としてDに譲渡することにした。Aは、Bの了承を得ないで、甲土地の登記関係書類とBの実印を使用し、Bの代理人として、Dとの間で、甲土地をDに譲渡し、その代わりにAの300万円の債務を消滅させる旨の契約を結び、甲土地の登記をBからDに移転した。

以上を前提として、次の設問に答えなさい。なお、(1)と(2)はそれぞれ独立した問題である。

(1) 甲土地がDへ譲渡された半年後に、Bは、Aが甲土地をDに譲渡したこと、そして、Dへの譲渡から2ヵ月後に甲土地がDからこの間の事情を知らないEへ転売され、登記もすでにEに移転していることを知った。この場合にBはEに対し、甲土地についてE名義の登記の抹消を求めることができるか。(35点)

(2) 甲土地がDへ譲渡された半年後に、Bが交通事故で死亡した。AとC(Aの子)がBを相続し、ACはDに対して、甲土地のD名義の登記を抹消するよう求めた。この場合のACとDとの間の権利関係はどうか。考えられる他の意見を批判しつつ私見を述べなさい。(40点)

問題 2 の解答は『解答用紙 (B)』を使用してください

問題 2 (75 点)

Aが所有、管理する塀にはもともと亀裂があったが、2014年9月26日午前11時ごろ、この塀は突然道路上に倒れた。ちょうどバイクでその場に時速60kmで走行してきたBは、倒れてきた塀に接触して転倒し、車道に投げ出されたため、時速90kmで走ってきたCの運転するトラックに轢かれて重傷を負った。この道路の制限速度は時速40kmであった。

以上を前提として、次の設問に答えなさい。なお、自動車損害賠償保障法の適用については考慮しなくてよい。

(1) Bは、だれに対して、どのような根拠に基づいて損害賠償請求をすることができるか。

(40点)

(2) 重傷を負ったBは、その症状が固定した後、2015年7月1日、リハビリテーションを兼ねて登山中に、落雷に遭って死亡した。Bの遺族としては子Dがいるのみである。Bの損害賠償請求権についてDが相続するという立場に立った場合、Bの逸失利益についての賠償はどの範囲で認められるか。(35点)

〔以下余白〕